

おだわらを拓く力  
ニュースレター  
**Powers!**

# おだわらTRYプラン後期基本計画がスタート

## 城山陸上競技場 リニューアルオープン!

小田原のスポーツの拠点・城山陸上競技場が、大幅なリニューアル工事を終え4月1日から利用を再開しました。サッカーやラグビーも可能な芝生のフィールド、バックストレートの直走路、夜間照明の強化、ロッカールームの機能アップ、すべてのトイレの全面改修など、機能・使い勝手とも大幅に向上。東京五輪やラグビーW杯も視野に、小田原のスポーツを大いに盛り上げます!



## 課題を着実に解決、まちづくりは進む

### お城通り地区再開発 事業者決定



小田原駅東口とUMECOの間に整備予定の「広域交流施設」の事業者が、地元でお馴染みの「万葉倶楽部㈱」に決定。「宿場町のこころを今に再現する」とのコンセプトで、ホテル、商業・業務施設、コンベンション、観光バスターミナルなどのほか、図書館、子育て支援施設などの公共施設も配置。四半世紀を超えた懸案事業がようやく実現を迎えます。

### 森里川海モデル事業へ～環境大臣と意見交換

環境省の「つなげよう!森里川海」モデル事業に、全国10カ所のひとつとして採択された小田原市。おだわら環境志民ネットワークの活動や、再生可能エネルギーの先進的な取り組みが評価され、山本公一環境大臣からの招請を受け、市町村では初めて意見交換の機会を頂きました。この地域の豊かな自然・環境を守り育てる取り組みへの支援を要請しました。



### 生活保護行政、抜本的立て直しへ



不適切な表現のあるジャンパー着用という問題を受け、直ちに「生活保護行政のあり方検討会」を設置。1ヵ月余りという短期間で集中的に課題を検証し、取り組むべき方向性が示されました。井手英策慶応大学教授をはじめ生活支援分野のエキスパートの皆さんからの提言をまっすぐに受け止め、抜本的な立て直しを進めます。

### 市内で保育の受け皿が拡大

この4月から、市内で新たに小規模保育施設4園、企業内保育施設1園がスタート。それらを合わせて90名以上の乳幼児の受け皿が増えたこととなります。国が導入した新制度に対応しつつ、なかなか解消しない待機児童問題の解決を目指し、官民が協力して準備を進めてきました。30年度以降も引き続き受け皿拡大へ取り組みが進みます。



### 加藤市長からのメッセージ

新しい体制のもと、29年度がスタートしました。春先からお城周辺も賑やか。2市協議や市民ホール建設など、直面する多くの課題がありますが、これまで培った市民の皆さんとの協働の力で、元気に乗り越えていきたいと思っております。

2017年春 小田原市長 加藤憲一



2017.04発行 第38号  
発行責任者: 二宮秀夫

**おだわらを拓く力**

(加藤けんいち後援会) TEL 0465-21-5260 FAX 0465-21-5261  
小田原市栄町2-13-1 そびそ二宮ビル2F オープン時間: 月・水・金(祝日のぞく) 10時~17時

拓く力

検索